どういうサービスがあるかまとまった情報が欲しい

若年性認知症が増えているのに福祉サービスや施設は高齢者向けで、まだ若く頑張れるのに本人らしく生き生きと暮らせるような支援が少ない。医療面では専門科に分かれての受診でなく、高齢者医療として総合的に対応してくれるような病院がほしい。

パソコンやタブレットも使いたい。感染症対策してほしい。

車イスでも生活できるグループホームなどつくってほしい。

・ヘルパーさんは家がきれいになれば…と思っていると思います。(住のことまで手が回りません。)・主な介護者の親はゆっくり休みたい。自由な時間が欲しい、と日々思います。・人手不足・コロナ対策、コロナに対しての配慮が日々大変。と思っていらっしゃるように思います。

移動支援にヘルパー2名付けていただき、重度の発作があっても外出できていることに、大山町に感謝しております。

はじめてアンケートを見たがわかりにくい。見づらい、読みづらい。

私(母親)朝夕おしめを変える時、尿の量、いんぶのせいそう着替えだんだん大変になりました。

・困って相談をしても、時間がかかるだけで、何も変わらない事が多い。部署が違うなどといった返事が聞き たい訳ではない。困っている事に対し、もう少しタイムリーに対応してもらいたい。結局、家族の負担が多い。

現在、グループホームで生活しており親身で接して頂いており大変助かっております。

・グループホームでの生活ができなくなった場合の施設がわからないので知りたい。

災害時のことについて市、県のコメントに絶望 現実的に困難な避難を案内された。障害者は避難するな家で どうにかしろと言われたと同じ このような調査するなら何か行動にうつしてほしい

サービスを利用したとしても、家族の負担が大きく、地域で将来1人で暮らしていくには、たくさん課題があり、集団生活施設やグループホームでの住らしにもおさまらない。重度でももう一歩工夫があれば自立の生活は可能になると信じたい。

活発で動きも早いので、ついていくのが大変。危険予知が苦手なので、地域でのサポートがあれば少しでも言えにいれる機関の確保にもつながると思う。

高齢者の介護保険や年金の事ばかり問題視されていますが、障害福祉サービスもこのまま使いたい放題でふくれ上がっていくと財源がなくなり、破綻の可能性もあります。相談支援員さんの計画相談の見直し、ご本人保護者の障害への理解、受容など意識をして施設サービスを直ちに使って制度を存続させていく事が大切だと思います。特に精神障害にカウントされている方のほとんどは軽い知的障害、発達障害をお持ちの方が多いですが、二次障害の障害の診断名がついていません。医療機関にも問題があるのではないでしょうか。薬だけ飲んでも改善はむずかしいと思います。

障がい福祉サービスも介護保険のように社会保険方式にして自己負担をしてもらえば、安易なサービス利用が 少なくなると思います。

ほとんど自分の事は自分でするので手はかからない お金の計算がちょっとにがてで手伝う時があるくらいです。

車で外出することがあるのですが、障害者の駐車スペースを増やす、また広くする、乗り降りの際少し時間がかかります。天候不良だと厳しいので屋根を付けていただきたいと思います。そのあたりが充実すればもっと外出の機会が増えると思います。

いつでも、人員不足に悩まされている。介譲現場の人員不足解消を行政がかかわって解決していただきたい。 本人の歩行状態のいちじるしい低下により車イスの申請を行いたいが身障の再判定するのが非常に難しく自 己資金を使わないければならないのでもっと利用し易すくして欲しい

移動手段が本人の状況で制限される中、自己資金の中からの支出でまかなう事は不安がある。

短時間作業が可能な支援施設があればいいのですが。情報が全く無しです。

障害者年金1級、特別障害者手当を受けているが、もう少しこまかい段階があると不公平感がなくていいと思う。(B型作業所に通い賃金をもらっている人でも、年金1級と特障が受けれている人がいる。)うちは自分のことが何もできず、生活介護を利用している。紙パンツ代もかかるのに同じ手当では、やっぱり不満がある。紙パンツ代の手当がもらえるようになると助かります。

知的障がいがあり、定期通院が大変。通院つきそいなどのサービスがあれば利用したい。

問 31 の誤植についてチェック体制はどうなっているのか問 36 の保佐や補助の扱いが※の説明で含まれていないのはなぜか問 39 の個別避難計画について市町村での取り組みに差があると思うが兵庫県のように財政的な支援や防災対応力向上研修を実施して制度を推進してもらいたい。

自分が動けなくなったり(コロナや災害時)した時、誰が変わりに動いてくれるか?行政の割り振り分担などがあり、そのため十分な、支援や動いてもらえない。どこに、だれに連らくして助けをもとめればいいのか? わからない。また、いざというときは何もないところからなので、「出来ない、ないです」と言わないで支援してほしい。

このアンケートを本人だけで回答するのは難しいと感じました。

介助者と書いてありますが、支援者だとわかりますが、どの様な人が介助者となるのかわかりづらかった。

本人がどのような状態なのかによりサービスは変わってくる。本人のじょうたいについての評価について医師のかかわりも必要。市や県の事務職で異動する人たちでは」表面的なこととりつくろって支援をしているということになります。福祉の意味は次に自分がそうなったら行政からどのような扱いを受けるのか。今困っている人を支援してきちんと対応できない政府ならいらないという意見になるから。

精神的治療を不調になった時の受入先。

役場福祉課から高齢を理由に介護保険の認定を受けて介護サービスを受けるよう言われて検査を受けさせたが不認定となった。今まで障がい福祉サービスを受けていて費用はほとんどかからなかったが介護保険で同様のサービスを受けると費用がかかる。わずかな賃金しかもらっていないので何千円かの負担は大きい。たとえ介護認定が出たとしても軽いうちは障害福祉サービスを受けられるようにしてほしい。年十年も続いたサービスで障害特性もよく理解したヘルパーさんからの援助がありがたいだけに何とかしてほしいと強く思う。

役場福祉課から障害福祉サービスから介護保険サービスに代わるように促され、国の方針で高齢者であることを介護認定要介護1となったことから、今まで受けていた障害福祉サービスが移動支援のみとなり、障がい福祉のヘルパーさんではなくなったことから半年ぐらいトラブルが続いた。今も慣れてきたが特性理解と連携面で不満を感じている。また、居宅サービスで費用が何千円もかかり、わずか5,000円の給料からみると、今まではほとんど費用がかからなかったことを考えると痛手である。高齢になっても介護保険ではなく障害福祉サービスが受けられるようにしてもらえるよう国へ働きかけていただきたい。

 $3\sim4$ 年前から障害福祉から介護保険に移行したため、経済的負担がふえ、加えて高齢になり、仕事がへって賃金2,000~3,000円となってしまった。介護保険ではなく障害者福祉で何十年もみてもらったので元にもどしてほしい。切にお願いいたします。

僻地への生活介護、移動支援事業所を増やしてほしい。

医療ケアが出来るデイサービスを増やしてほしい。訪問(入浴)、生活介護の施設を増やしてほしい。

がんの事もあり、足が上がらず躓きが増えてきました。外出しても坂道などで息切れしてしまい大変だと日々 思っています。何か対策があればいいと思いますが。。。

どういうサービスがあるのか、どうしたらそのサービスを利用できるのかわかりやすく教えてくれるところが欲しい。

介護付き(年れい関係なく、障がいの人以外も住める)ホームみたいなものが出来るといい。松江シンジコーレみたいなところ。

介助者の立場としましては、行政のとりんみを、もっと幅広い人々に伝わるようにしてほしいと思います。

心配本人何もやる気がない。

移動支援、行動援護の業者ヘルパーの数を増やして欲しい

移動支援業者、ヘルパー不足で利用できない(中部)

移動支援、行動援護の業者、ヘルパー不足(中部)

移動支援、行動援護の業者、ヘルパーが少なく、利用できない。

医療的ケアが多くなると親も疲れます。日中の事業所は断られることが多い。施設入所を進められるが、子どもの傍で笑顔をいつまでも見ていたい。地域の生活で 24 時間医療的ケアを支えるしくみ、緊急、長期の短期入所などを望みます。しかし、住みなれた地域での施設を要望

介護者が体調不良でも介護をしなくてはならず、年令とともに回数も増えては手これからが心配ヘルパーさん に入っていただける回数がもう少し多かったらいいが、吸引ができないので、それも無理なのかあきらめてる。

親の収入があっても支出が大きいんですけど?しっかり税金は収めていても必要な時にもらえない?進学がまちがいだったのか?それなら難病者は進学するなと県が大々的にうったえてほしい

仕事のできるところをふやしてほしい

智頭病院駐車場のハートフルの所に屋根があったらいいなと思う、いや作ってほしい。雨や雪の日の車椅子で の乗り降りに困っている

大災害が起こったらどうしよう。定期的に通院必要な場合今は親が行っているが私がいなくなったらどうなる かサービスが利用できるか。

介助の手助けをしていただけるようなサービスの情報をリアルタイムで提供してほしい。介助などで困った時 に相談が気軽に行うことができる窓口が欲しい。

フルタイムも選べるようになったら、良いかと思います。あとは家を出られるように家賃の補助、格安の住宅 に入れるような支援があればと思います。

両親がいなくなったあとの生活が心配。放課後等デイサービスでは子どもへの支援がある、楽しくすごせるよう関わってもらっているが、大人になってからはそのように支援してもらえるのか。さみしく過ごすことのないようさぽーとしてもらえるのか。

自分だけ介助するんじゃなくて部分的に自宅の介助者(ヘルパーさん)例介助者がちょっとした気分転換で外出したい時、他の支援者契約者が自宅に訪問し食事、お風呂とかもしてほしい。

精神状態の波が安定しない為、ヒヤヒヤしながら生活しています。

居宅介護として、送り出し、迎え入れのサービスを使っているが、急な場合、頼みにくい

上記のように言われました。私自身も同意します。コロナ対策の語句の意味がどんどん変わり、私ですから理解には苦しみました。緊急時にはより誰にもわかりやすい言葉で説明する方がよいと思います。移動に関しては、都会と比べてしまいがちだが、自家用車がない人は田舎では不便であることは違いないです。

特にありません・コロナ禍における何か行政主導の訪問サービス(外部からの受入れなので留意が必要が・・・・)があれば・・・・・

もっと健常者が障害者への理解がすすむ様なこうしゅうかいなどをせっきょく的にとりくむべき理解が少ない人が多すぎる為。タクシーや電車などの割引きを導入するべき。

母が車椅子生活の為、介護老人保健施設のデイサービスとショートステイを利用していますが、父が認知症で福祉サービスを利用してませんので、どういうサービスがあるのか、どうしたらそのサービスを利用できるのかわかりやすく教えてくれるところが欲しい。ちなみに母は要介護 5、父は要介護 1 です。

制度やサービスの手続きが複雑で分かりにくいため簡略化やれると良いと思います

交通機関の介助で助けられているので向上に向きたい。

このアンケート調査についてお仕事、お疲れさまです。もし、私が見落としていたら申し訳ございません。

現時点でということでしょうが、いつからいつまでの計画なのか明記があると答えやすかったです。37 歳で将来って結構長く、イメージしづらかったと感じました。~をさせてもらいましたが(問 16)、そうするしかないから選ぶ部分が大きいです。私は自分から福祉施設で暮らしたいとか病院に入院したいとは想いません。もう少し配慮があれば嬉しく思います。皆さんと同じ暮らしがしたいと心では考えていることを!!

・77 歳なので介護保険サービスも利用しています。・現在要介2ですが、今後身体介護が必要になった場合、施設入所に不安です。

もっとしゃべってほしいです ありがとうございました

老介助で辛い。その変の支援が欲しい。

・障害者がとしをとり施設をさがしてもとくようろうけん等に入いれない人がいると聞きました入所をゆうせんに入いれるようにしてほしい・子どものころから入所している人(とちうで入所したい人)がそのまま入いれる施設を作ってほしい。

重度知的障がい者は入所されていて、在宅で暮らせるグループホームやシステムを作ってほしい。行政でできないのならしっかり補助金を出してバックアップしてほしい。

以前、訪問介護事業があり、土日祝の休みの時1日(週1回)調理を一緒にしていました。夕食、昼食、菓子作りと楽しみにしていましたが、3年前頃中止になりました。とても残念です。作ったり、片づけたりと食事のことが薄れてきて言わないとしなくなりました。又、復活出来る事を願っています。

自分も年老いてきているので、体力に限界を感じます。(お風呂、トイレなども、いつも付き沿いが必要)

自動車免許の返納されたけれど家で畑をしている。ホームセンターで土を購入したいけど1人で持ち帰れないので困っているという話を聞かせていただいたことがありました。

成年後見人です、入院が長く、今後、福祉サービス利用についても考えていきたいと思います、ご本人はまだ その気持ちはないようですが。

頼みたい時がある

加害者の記憶はすぐに消えてしまうでしょうが、被害者の記憶は一生消えることがありません。福祉に関わる 皆様を信じたいと思います。

作業で袋の数を数えるんですが多く数えたり、少なく数えて数が合わなかったりする事があって間違えず数を 数えるいい方法配慮してもらえたらと思います。

サポート地域センターに変わらせてもらいたいが、移動手段が今のところで満足しているため変わりにくい。 動きのとれない障害者と高齢(97才)の母親との生活で災害時は動きがとれず心配です。

子供がこれから先、困らないように、施設の情報、私が年をとった時、幸せにくらせるように、制度が教えてほしい。

得手不得手が誰れもある 共助支援が大切する 明るく楽しい人生を歩もう。

鳥取市にもリハビリ入院できる病院を増やしてほしい。地域包括ケア病棟のある病院を増やしてほしい。

新型コロナ感染予防のため近場へのドライブぐらいしか外出させていません。外出時に困るのが公園等の身障者用トイレです。そこで比較的きれいなトイレのある所にしか行かなくなります。利用しやすく清掃されたトイレがたくさんあることを望みます。

生活介護、放課後等デイサービスの医療的ケアが出来る施設が増え職員の賃金も考えてほしい、特に看護師不足、負担が多い、介護士が医療的ケアを学ぶのに時間も方法を難しい事が多いのでもう少し、県などが学べる環境を提供してほしい。

一見障害がわからないため、無理をしてしまいがちです。

周りの人間に理解ある人を置いていたらある程度社会生活を送ることができる人が多いので支援体制が必要です。

未だ介助者の中で理解できなくて不勉強な者もいるため、勉強会があれば良いように思います。

県の情報が来ていないのが問題だとおもいます

一人での介護は経済的にも体力的にも大変なので助成制度などどのようなものがあるのか教えてほしい

車椅子用の駐車スペースが、介助者が運転する場合、トランクから車椅子を取り出すので後ろ側にも広めのスペースを確保するようにして欲しいです。トランクをあけるスペースが無いことが多く、車を前に出したまま一旦外に出て車椅子を出してから駐車しなおさないといけなくなっています。

アンケートに対しての質問が、答えられるものがほとんどありません。質問に答えられるような内容が良いと 思います。例えば施設向けとか。

質問の内容が知的障害(文字が読めない、書けない方など)をお持ちの方には内容が難しすぎて意味がよくわからないと思いました。

答えられる質問が少なく、内容が難しいと思いました。就労、権利擁護など。

御家族と会いたい気持ちが強いのでもっと頻繁に帰省できるよう人員を増やすか、外出同行のサービスを利用できたらいいと思います。

御本人が好きなものを選んで購入できるようカタログ購入を導入していただきたいです。コロナが 5 類になったら、施設外での余暇時間を増やせると、御本人も楽しんで生活できると思います。

- ・退所後の受け皿の拡充。・切れ目のない支援を受けることができるようにしてほしい。
- 一般企業就職後のフォロー支援充実。

家族にも、本人にも分かりやすく制度の説明をしていただけるといいと思います。障がいがあっても、なくても、生きていく上で欠かすことのできない福祉サービスですので、必要な方に必要な支援が届くことを望みます。

移動支援事業所が少なく、利用できない。事業所の支援等、行政で行い、在宅支援サービス(障害者) n 充実をお願いしたい。

移動支援事業所(ヘルパー)が増え、利用できる様にして欲しい。

この方の場合、自立訓練を行うトレーニングセンターの様な、宿泊可能なハードを持つところがあれば、良いと思う。(地区別に)

入所施設からせっかく地域移行できたのに、移動支援事務所(ヘルパー数)が不足していて、利用できない。 又、行動障害に対応できるヘルパーを増やして欲しい。

移動支援を利用したいが、事業所(ヘルパー数)が足らなさすぎ。また、足が不自由な方のために配送サービス(移送)ができる事業所を増やしていただきたい。あるいはUDタクシー利用時の料金的支援を!

入所支援から地域に出られたのに、外出支援サービスが受けられないのは残念。移動支援事業所が増え、利用できるようにしていただきたい。

重度ながら就労Bで支援いただき感謝しています。移動支援ヘルパー数(土日)の関係で、月1回になっていますが、もう少し利用できたらと思い、事業所+ヘルパーの数が増えたらいい、と思います。

移動支援業者が少なすぎて、利用できない。

移動支援事業所、ヘルパー数が中部に少なすぎ。ニードがあっても、出してあげれない。

強度行動障害の支援技術を、もっと幅広く、伝え、

中部には「移動支援」「行動援護」の事務所が増えて欲しい。

本人に重度知的障害者への偏見があり、暴力等もあるため、本当は、身体障害者グループホームがあれば、その生活の方が良いのだが、鳥取県、特に中部には無い。この方の場合(体重が重い)ホームの世話人では介助が大変なため、他のサービスと組み合わせたいのだが、制度の壁があり、利用できない。どうにか柔軟性のある、サービス利用ができないものか。

グループホームで再重度の行動障害対応できる所が増えて欲しい。または、身体障害(車イス利用者)だけの グループホームが増えて欲しい。選択肢が無さすぎる。 移動支援、行動援護業者が少なく土、日の余暇が困る。又、自閉スペクトラムの強度行動障害に対応できるヘルパー数の増加を望みます。

特にありません。

高齢化に伴う問題(骨粗しょう症があり、骨折のリスク大)

強度行動障害、自閉スペクトラムの方に対応できる行動援護事業所の増加を切に望みます。

移動支援が利用したいのに、ヘルパー確保できない。どうにか行政主導で事務所等立ち上げてもらえないだろうか?

一般企業に以前は勤められていましたが、そこで精神を病み、病院を経て障害者支援施設(重度者対応)に入って来られ、何とか精神安定、機能回復され、グループホームへ出られました。一般企業で働くことは知的障害のある方にとって生半可な事ではありません。ちゃんとした支援が、人間関係の調整支援が必要です。

質問内容へのご理解を頂くことが難しい。

内容が難しすぎ、わかりにくかった。

苦手な他者と距離をとっておだやかに暮せるよう支援したい

苦手な他者と上手く距離をとっておだやかにくらせるよう支援。

将来、在宅又はグループホーム(自宅近く)利用を検討している

もう少し、外出、買物の機会を増やすため、介助者の量、質的充実、特に「量」、人手不足の解消を、行政に期待したい。事務所自体の取り組みには限度があり、人の確保が難しいために、利用者数を減らさなければいけない現実がある。

移動支援事業所(土、日ヘルパー数)の増加を望みたい。

移動支援事業所(ヘルパー数)が少なすぎて、利用したくても利用できない

移動支援、行動援護の事業所、ヘルパー数を多くできる様、また重度者、自閉症支援のスキルアップを行政で 計画的に取り組んで欲しい。

移動支援業者(ヘルパー数)が少なく、利用したくてもできない状態。行政の先導でヘルパー数確保できない ものか。

行動障害(強度)に対応できる、施設、事業所をもっと増やした方が良い。

休日、移動支援で外出していただきたいのに、事業所・ヘルパー不足でサービス申請すら出来ない。行動援護 を含め、在宅サービスの量的充実を求めたい。

強度行動障害支援の方法の研究普及をお願いし、、対応できる施設等の増加を図っていただきたい。

移動支援、行動援護業者の増加を望みます。介護職員の人材不足問題の解決を!

施設で元気に作業生活されてます。

施設入所で歩行訓練などのリハビリが補助費ありで受けられるようなサービスがほしい

性格を知りませんので、良くごかいを生じます。残念に思います。もう少し身のあるせっしょくのしろと希望 します。お世話になっておりまして、ありがとう存じ上げます。